

日本共産党 蕨市議団 6月市議会報告



一般質問 頼高市長3期目の マニフェストの 詳細な内容を質問

市会議員
志村 しげる

◆【質】①上下水道の4年後の耐震化率の目標はどうか②長寿命化の方法はどうか
【答】①上水道は基幹管路が95%、全管路は50%が目標。下水道は13・5%が目標だが、長寿命化対策でも耐震化を進める②施設の予防保全的な補修等を実施し長寿命化を図る。

◆【質】①認可保育園の整備目標はどうか②病児保育を行う施設と開設年度はどうか
【答】①子ども・子育て支援事業計画を基本に進めるが、保育ニーズの動向等によって適宜目標を修正する②医療機関併設型や保育所併設型で協議を進め、速やかに実施する。

◆【質】①小中学校のトイレの改修をどのように進めるか②西小のトイレは浄化槽だが、臭気対策はどうか
【答】①各校男女一か所ずつのトイレ室の便器交換や床の乾式化等、環境改善を図る②清掃方法を見直し、専用薬剤を使用した清掃に変更する。

◆【質】①小中学校のトイレの改修をどのように進めるか②店員に個人情報が入る心配はないか③コンビニに払う委託料はいくらか
【答】①5団体。コンビニに設置された機械を住民が操作し、利用登録した住基カードを用いて取得する②情報が店員の目に触れることはない③1通123円④現在検討中。



一般質問 市民公園のパー ベキュー利用。生活 保護の住宅扶助費 問題などを質問

市会議員
かじわら 秀明
中小企業診断士
@KajiwaraHideaki

◆パーベキュー利用者のマナー向上
04年度5千人弱でしたが、10年度1万5千人、14年度2万8千人と激増し、においや利用者のごみ放置など、住民の苦情も増えています。街中の公園でパーベキューのでき

るところは県内では他になく、市外の利用者は約3分の2。私は、利用者マナー向上啓発をさらに強め、それでも苦情が減らなければ、規制も必要ではないかと提起しました。

◆住宅扶助費減額問題
政府は今年7月から、生活保護の住宅扶助費の見直しを実施します。蕨市では2人世帯の影響が大きく、月額上限6万2千円の住宅扶助費を5万7千円に減額します。私は、対象世帯へのていねいな説明、病弱者などのいる世帯への経過措置の適用を求めました。

◆他に、選挙投票所のバリアフリーと投票率向上策について質問。
高齢者や障害者等で、転居により自立を阻害する恐れのある場合は、旧基準額での支給の可否を判断するが、適用はごく少数だろう。受給者個々の状況を真摯に検討して判断する。

◆健康福祉部長答弁
6月1日現在2人世帯は189、うち5万7千円超の住

言変更や、「許可を得た場合を除きパーベキューは禁止」の看板設置を検討する。利用者者を少なくすることなど、町会や地域のご意見を聞き検討する必要がある。

◆健康福祉部長答弁
6月1日現在2人世帯は189、うち5万7千円超の住

◆他に、選挙投票所のバリアフリーと投票率向上策について質問。

お気軽にお声掛けください
日本共産党市議団の市民相談
8月 11日(火) 26日(水)
時間：午後2時～4時
場所：市役所4階 日本共産党市議団控室
当日の電話は ☎432-3590
相談無料

6月議会への市長提出議案計7件は、全て全会一致で可決されました。補正予算では、今年10月に開園予定の認可保育園(北町)に加え、来年4月に開園予定の認可保育園2園(中央・錦町)に関する予算などが計上されました。市長マニフェストの前進で、市民要求がまた一つ実現します。また、議会基本条例が議員提出議案として提案・可決されました(詳しくは裏面参照)。

新たに認可保育園2園を増設 補正予算案など市長提出議案は全て全会一致で可決

【あつたか市政】3期目スタート
よりたか市長が決意表明
市長選後、最初の議会となった6月定例会市議会。3回目の当選を果たした頼高英雄市長は、議会の初日、「市長就任あいさつ及び報告」を行いました。その中で市長は、「引き続き、市民の皆さんとの直接の対話・触れ合いを原点にしつつ、蕨の更なる発展に向けて全力を尽くす」と市政運営に当たっての決意を表明。3期目のマニフェストに掲げた3つのビジョン(①安全で安心できるまち蕨②にぎわいあふれる元気なまち蕨③みんなにわたたくだれもが住みやすいまち蕨)と37の推進項目についての概要を紹介し、市民の期待に全力で応えようと語りました。

日本共産党 蕨市議団ニュース
2015年7・8月号
事務所 TEL 443-8332 FAX 444-6531
市議会議員
志村 茂 ☎441-0265 山脇紀子 ☎446-3129
鈴木 智 ☎444-6957 梶原秀明 ☎447-1928
宮下奈美 ☎211-0922 (7月20日に就任)
ホームページ www.jcp-warabi.jp メール info@jcp-warabi.jp

日本共産党 蕨市議団 6月市議会報告



一般質問
運動などの健康づくりへの支援、高齢者等の見守り活動の推進について

鈴木 さとし

フェイスブック
ツイッターでも発信中

◆運動などの健康づくり
鈴木 ラジオ体操等、市民の自主的な取り組みへの支援は。部長 基本的な方向性は「計画」に位置付けられているが、自主的な市民の取り組みを全体的に把握することは難しい。健康への質問等問い合わせについては答えていきたい。

鈴木 介護予防の「ずっと健康教室」で、制度変更に伴って募集条件等が変わり、受けられない人が発生した。参加者の限定や抽選、定員の拡大など、改善が必要ではないか。部長 昨年まではリスクの高い方を把握し案内を行っていたが、今年度は制度改正に伴

い、全ての高齢者を対象に参加者を広く募集した。その結果、予想を上回る多くの申し込みとなったもの。今後については、提案のあった方法も含め対応を検討する。

鈴木 年齢などを基準に、より必要とする人たちが優先して受けられるよう、対応については細かな検討を求める。

◆高齢者などへの見守り
鈴木 見守りネットワーク協定を締結した事業所等との日常的な連携は。社協等が行っている高齢者等を対象とした見守り事業と一元化したネットワーク化が必要では。当面、広報等を発行する考えは。部長 市の身守りネットワー

クは、各担当課が業務上関わりある事業者と締結して連携は取れている。市の事業と社協の取り組みでは目的が異なるが、連携することで地域福祉の向上が図れると考える。地域住民や事業者の参加促進へ、広報わらびやホームページで周知する。



一般質問
コミバスのルート改善、不登校や夜間中学設置について質問

やまわき 紀子

フェイスブックで発信中

◆「コミュニティバス」ぶらっとわらびのベンチの設置とルート改善を求める

【市長】多くの市民からルート改善の要望をもらっている。健康づくりやまちのにぎわいを含めて、バスを4台へ増やし逆まわりをつくりルートの

拡充をすすめていきたい。

【市民生活部長】バス停はルートの見直しに伴い移動も考えられることからベンチの設置も併せて検討していく。

【健康福祉部長】今後、空調など館内改修工事の計画の中で、案内板の設置等については利用者の意見を聞き、気持ちよく足を運んでいただける施設となるよう努力したい。

【教育長】昨年度は年間30日

以上欠席は小学校8名、中学校33名。今年度は、日々草学級へは2名が在籍し学校復帰をした。さわやか相談室へは10名が登校している。

【保健センターを市民にわかりやすくさらに活用してもらいたい

◆不登校児童生徒の状況はどうか

◆市民が通える近隣への夜間中学の設置を検討できないか

◆他にDV防止対策推進事業について質問

議会改革特別委員会が最終報告 蕨市議会基本条例が成立

蕨市議会は、議会改革推進特別委員会に、①費用弁償、②インターネット中継、③予算決算常任委員会の設置、④議会基本条例、などについて付託し審議してきましたが、本議会の最終日に委員長報告が行われました。

審査のため、常任委員会を設置することができるとの規定で合意しました。日本共産党は、全ての議員が予算委員会に参画することが議会の権能強化のためにも必要と考えています。

①は、日本共産党は従来から廃止を求めています。委員会では、「政務活動費を増やしたうえで費用弁償を廃止すべき」次の議員任期で議論すればいい」などの意見が出され、まとまりませんでした。

④は、委員会で案文をとりまとめ、議会最終日に議員提案として提出され、全会一致で可決しました。蕨市議会基本条例は、議会と市民との関係、議会と市長等との関係を定め、議会の役割と責任を明らかにし、市民福祉の向上と民主的な市政の発展に寄与することを目的に制定しました。条例は、前文と、12章からなる本文32条と付則で構成されています。



志村茂議員が勇退

9期36年間、蕨市議会議員として、市民の願いを市政に届け「あったか市政」を支えるなど、長年奮闘してきた志村茂市議団長が勇退します。活動地域は宮下奈美新議員が引き継ぎます。

写真は、左から梶原議員、宮下新議員、志村議員、山脇議員、鈴木議員（市役所正面玄関、2015年7月）。